

第 54 回 年次大会報告

長 井 智 典

1. はじめに

公益社団法人日本技術士会北海道本部の第 54 回年次大会が 2019 年 7 月 10 日(水) ホテル札幌ガーデンパレスで開催されました。年次大会資料を、本会誌後ろの年次大会報告に掲載していますのでご覧ください。ここでは会議の概要と講演会、懇親会の様子を中心に報告します。

2. 年次大会(15:30～16:30)

今回は定期報告を中心とした 4 つの報告に加え、統括本部技術士制度検討委員会の中川委員長(大会当時、現在は副委員長)より、技術士制度改革・最終報告書の解説をしていただきました。



写真-1 右より森本部長、池田・金・田中副本部長



写真-2 会場の様子

(1) 出席状況

・ 会員	185名
・ 会友	27名
合計	212名

(2) 開会挨拶

はじめに森本部長から、日本技術士会の役員等改選についてお知らせがあり、北海道本部選出理事である大熊理事が日本技術士会の副会長に就任されたとの紹介がありました。北海道本部選出理事が副会長に就任するのは、現北海道本部の館谷参与以来、実に 24 年ぶりということです。続いて、中川氏をお迎えし技術士制度改革の最新情報をお話いただくこと、本日の講演会に現在進行中である「はやぶさ 2」ミッションをご担当されている久保田教授をお迎えしお話いただくことについて、非常にありがた

いこととお話されました。人間、年を取るとワクワク感が減って 1 年の時間を短く感じるとの説を紹介され、本日の講演会によりワクワク感を取り戻していただければと結ばれました。

(3) 報告事項と質疑応答

以下 4 件の報告があり、質問・意見等はありませんでした。

①第 1 号報告(平成 30 年度事業・決算報告)

羽二生事務局長より、平成 30 年度の事業及び決算報告が行われ、三浦会計幹事より適正かつ問題の無い旨の監査報告がありました。

②第 2 号報告(2019 年度事業計画・予算説明)

前号に続いて、2019 年度の事業計画と予算についての説明が行われました。今年度は、産学官合同セミナーや北東 3 地域本部技術士交流研修会などの大きな行事が無いことや、予算について、前年決算が黒字であり十分な繰越額が確保できることから、約 80 万円の赤字予算となることが説明されました。(詳しい予算内訳等は、本会誌後ろに掲載の大会資料を参照願います)。

③第 3 号報告(役員の選任について)

2019 年度の北海道本部役員交代について報告と紹介がありました。なお、今年 4 月に日本技術士会の 4 回目の地域組織幹事選出選挙が行われ、北海道本部の立候補者は皆さん信任されています。

④第 4 号報告(日本技術士会会長表彰者)

2019 年度日本技術士会会長表彰の受賞者について事務局より報告・紹介がありました。北海道本部からは、松本謙一氏、岩田徳夫氏、門脇雅明氏、佐々木勝介氏、佐藤厚子氏の計 5 名が受賞されました。

会長表彰受賞者の略歴等は本会誌グラビアをご覧ください

ください。

(4) 技術士制度改革について～最終報告書の解説～

統括本部技術士制度検討委員会は、2015 年 5 月に設置され、技術士制度に関する様々な論点について独自に検討を進め、2017 年 6 月、2018 年 7 月に中間報告をまとめ、今回 5 月にこれまでの経緯を踏まえ最終報告を取りまとめました。当日の解説では、最終報告の裏付け資料や意見照会にていただいた意見、文部科学省と日本技術士会の取組み状況と今後の予定、最終報告書における具体的な提案内容等について丁寧にご説明されました。



写真-3 中川 裕康氏

3. 講演会(16:30～17:30)

今回は JAXA 宇宙科学研究所教授の久保田孝氏をお迎えし、「日本の宇宙探査技術の最前線」と題してご講演いただきました。

(1) 講師のご経歴

久保田様は、1986 年東京大学工学部電子工学科を卒業後、同大学大学院博士課程を修



写真-4 久保田 孝氏

了され工学博士の学位取得後、富士通研究所にて画像認識の研究に従事されました。1993 年に文部省宇宙科学研究所に入所され、ロケットの姿勢制御、探査ローバの研究、宇宙プロジェクトに従事、現在は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所教授、同研究所研究総主幹、宇宙探査イノベーションハブ長であります。小惑星探査機「はやぶさ」では、構想段階から検討に加われ、探査機の航法誘導制御を担当されており、今回、「はやぶさ 2」プロジェクトでは記者説明会などでのスポークスパーソンとしてミッションを解説されており、専門分野は、宇宙ロボティクス、宇宙人工知能、自律システム、探査機の航法誘導などです。

(2) 講演について

講演会では、久保田様がプロジェクトメンバーであることから「はやぶさ」「はやぶさ 2」を中心に、宇宙の謎(宇宙のはじまり、宇宙の果て、ブラックホー

ル、宇宙人)や日本の今後の宇宙戦略についてお話されました。小学生の質問を例に、宇宙に関してわかっていることが増えてきたが、全体ではほとんどわかっていない(全体 100 とすれば 3 つか 4 つ位しかわかっていない)と始まり、「はやぶさ」が小惑星探査を可能にした理由、課題解決の過程等をエピソードを加えながら詳しくお話いただきました。「はやぶさ」が地球から約 3 億 km 離れた長径約 500m の小惑星イトカワにタッチダウンする難しさを、札幌から矢を放って地球の裏側のブラジルにある 5mm の的に命中させるようなものと例えられていました。「はやぶさ 2」に関しては、講演当日、小惑星「リュウグウ」に 2 回目の降下を行っている最中であり、臨場感あふれる説明をなされて、最後に 2021 年頃、月にチャレンジする、今は宇宙探査に地球の技術を使うので色んな企業の方に関心を持って欲しいと結ばれました。

4. 懇親会(17:45～19:30)

講演会終了後、会場を隣の部屋に移して懇親会が開催されました。懇親会は会員他 120 名の出席によりほぼ満席での催しとなりました。

飯野事務局次長の進行により、池田副本部長の開会挨拶、中川様の来賓挨拶、金副本部長の乾杯の音頭で開宴となり、懇親会がスタートしました。開宴後は、ご講演いただいた久保田様からのご挨拶、会長表彰受賞者・地方技術士委員会代表からのご挨拶があり、その後、恒例の技術士ビンゴゲーム大会を行いました。宴もたけなわでしたが、最後に田中副本部長の一本締めによりお開きとなりました。

5. おわりに

今年度の年次大会も盛況のうちに終えることができました。お忙しい中、快くご講演をお引き受けいただいた中川様、久保田様、そして参加者の皆様に心からお礼申し上げます。

長 井 智 典(ながい とものり)

技術士(建設/総合技術監理部門)

日本技術士会北海道本部
事務局次長
株式会社ドーコン

